

# ほのか診察室

## 風しんについて

シリーズ

第136話



市民病院  
総合診療科医師  
みやぐに ひろや  
宮国 博也 監修

問 市民病院（代表）  
TEL 22-12171

イルスが体内に侵入すると、そのウイルスを攻撃する「抗体」が体内で作られます。つまり、感染したかどうかは、血液中の抗体を測ることでわかります。

### 治療・予防

治療は、発熱、関節炎などに対しても解熱鎮痛剤が用いられます。風しんウイルスには有用な抗ウイルス薬がないため、症状を和らげる対症療法のみです。

予防は、マスクの着用や手指消毒に加えて風しんワクチンの予防接種が最も有効な方法です。予防接種法に基づく定期の予防接種は、2回の接種を目標で、集団における免疫を持った人の割合を増やすことが重要です。

### 症状

#### ○潜伏期間

風しんウイルスが体内に侵入してから、症状が出るまで2～3週間（平均16（18日）です。

#### ○初期症状

倦怠感や発熱、首のリンパ節腫脹が現れます。特に耳の後ろやあごの下が腫れることが特徴的です。発熱は、風しん患者の約半数にみられます。

#### ○発疹症状

初期症状が現れて3～7日前後経過すると発疹が見られます。発疹は道から侵入した風しんウイルスは、鼻やのどなどのリンパ節で増殖し、血液を介して全身へ広がり、発熱や発疹などの症状を引き起します。ようになります。

#### ○感染力

風しんウイルスは1人の感染者がいると、およそ5人前後の免疫を獲得し

#### 検査・診断

検査は主に血液検査です。風しんウ

の咳や鼻水などを介する飛沫感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播します。気道から侵入した風しんウイルスは、鼻やのどなどのリンパ節で増殖し、血液を介して全身へ広がり、発熱や発疹などの症状を引き起します。

#### ○感染経路

風しんウイルスに感染した患者さんの咳や鼻水などを介する飛沫感染で、

風しんとは、風しんウイルスによる発疹性感染症で発熱や発疹、リンパ節腫脹が主症状です。風しんは、はしか（麻しん）に類似する症状があり、麻しんより短い期間で治癒するため、別名「三日はしか」とも言われます。

合併症の伴わない風しんは、麻しんよりも軽い症状で経過します。しかし、妊婦さんが風しんウイルスに感染すると、赤ちゃんに「先天性風疹症候群」という重篤な合併症が生じます。

#### 概要

### 予防接種（お知らせ）

問 新城保健センター  
TEL 23-8551

#### 高齢者肺炎球菌

高齢者が肺炎になる原因の一つであります。つまり、感染したかどうかは、血液中の抗体を測ることでわかります。

治療機関へ事前予約必要

申所 市内実施医療機関

時 平成32年3月31日まで

※ 医療機関へ事前予約必要

対 市内に住所を有し、次の条件のいずれかを満たす方

・ 2019年度に、65歳になる方

・ 60歳以上65歳未満の方で、心臓、

腎臓、呼吸器、ヒト免疫不全ウイ

ルスによる免疫機能障害のある方

（接種時に、障害者手帳または主

治医の診断書をご持参ください）

※ 2019年度から5年間にわた

り、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、

95歳、100歳になる方も対象で

す。また、101歳以上になる方は

2019年度のみ対象です。ただ

し、過去に23価肺炎球菌予防接種

を受けたことがある方は、対象外で

す。（4月上旬に個別通知していま

す。予診票同封）

￥2,000円（接種した医療機関で  
お支払いください。）

※ ただし、生活保護世帯の方は自己負担金が免除されます。